

岡本眸の春の句

罅や水がうずうずしてをりぬ  
春日いま人働かす明るさに  
かぎろひて干潟の先の水迅し  
雛の夜の物わすれとはうらがなし  
春眠といふうす暗くほの紅く

松岡隆子 抽